

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R2 年 5月 28日

事業所名 チャイルドCOCO羽島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		子育て経験のあるスタッフの配置や、資格者の配置利用者の人数に対し人員の数は多く配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○	○		必要な児童がいなかったため現在バリアフリーの設備はないが、必要があれば随時対応していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフが個別に問題点を出し合い、全員参加のミーティングで検討・修正をしている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		送迎時や連絡帳等を通し、保護者とも連絡をとり意見を聞き取れる限り実行している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談支援専門員の意見を取り入れている	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部の研修会で学んだ内容をミーティング等で提示したり資料を回覧したりしてスタッフ間で共有するようになっている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の評価要望を踏まえ相談支援の方やスタッフ間の意見も加味した上で計画を作成している。子供の成長に	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ツールの内容が適切か定期的に検討している	
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にミーティングを行いスタッフそれぞれが提案を検討し活動プログラムを進言している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的なミーティング等を通して活動内容について検討し改善を図っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日長期休暇のときには、イベントを計画し、児童に負担の内容に工夫している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		それぞれの子供たちに合わせて計画を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に前日の支援記録、業務日誌を確認しその日に必要な内容や役割分担の確認。や申し送りをし、保護者からの連絡等をスタッフ間で必ず	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日あったことや気づいた点をスタッフ全員で話し合いを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		スタッフ間の話し合い、相談支援員の方と連絡を取り合い計画の見直しの必要性を判断し	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

38	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	緊急時対応マニュアル等を事業所内の掲示物に提示している	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に避難訓練を実施している	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者に食物アレルギーについて確認し配慮している	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事業所内のミーティング等で事例を検討し共有している	

非常時等の対応